

# 九州大学 大型計算機センターニュース

No. 226

1981. 3. 2

福岡市東区箱崎 6 丁目 10 番 1 号  
九州大学大型計算機センター  
広報教育室 (TEL092-641-1101)  
内線 2505

## 目 次

1. 負担金の変更について	1
2. ジョブクラスの統合について	2
3. MSS (大容量記憶装置) の本運用について	2
4. カタログドプロシジャ TEXTFMT の使用法の一部変更について	2
5. アプリケーションプログラム FEM の FEM II への移行について	3
6. 新規に登録されたライブラリについて	3

### 1. 負担金の変更について

56年4月1日から下表により負担金の算定を行います。変更点はファイルアクセス回数50回につき1円が25回につき1円、ディスク(共用ボリューム)10Kバイトにつき5円/1カ月が100Kバイトにつき50円/1カ月に変わるほか、センター内端末の端末接時間とマスストレージに関する項目が新たに追加されました。

#### 負担金算定方式(昭和56年4月1日)

区 分	負 担 金 の 額		
基本負担金*	1件につき	40円	
演算負担金	上半期(4月~9月)		
	1秒につき	6円(5分まで)	
	"	3円(5分を越える部分)	
	下半期(10月~3月)		
	1秒につき	6円(20分まで)	
	"	3円(20分を越える部分)	
入出力負担金	カード入力	10枚につき 1円	
	カード出力	1枚につき 2円	
	ラインプリンタ出力	1頁につき 3円	
		16行につき 1円	
	日本語ラインプリンタ出力	1頁につき 7円	
	XYプロッタ	4000ステップにつき 1円	
		10cmにつき	{ 3円(機種1)** 10円(機種2)
	ファイルアクセス	25回につき 1円	
	端末入出力***	10行につき 1円	
	端末接続	1分につき 1円(センター外端末) 1分につき 2円(センター内端末)	
ディスク	100KBにつき 50円		
マスストレージ	100MBにつき 4000円		

\* 基本負担金は次のセンター内入出力装置を使用した場合に負担する。  
ラインプリンタ、カードリーダー、カードパンチ、磁気テープ装置、XYプロッタ、グラフィックディスプレイ装置、フロッピーディスク装置

\*\* XYプロッタの機種1, 2は次のものを示す。  
機種1……F6202B(有効用紙幅24.44cm, 2色ペン利用可)  
機種2……WX625(有効用紙幅42cm, 3色ペン利用可)

\*\*\* 端末入出力にかかる負担金は、センター内タイプライタ端末を利用した場合にのみ負担する。  
(業務掛 電(内)2518)

## 2. ジョブクラスの統合について

昭和56年4月1日よりジョブクラスEの制限値を次のように変更し、6月1日よりジョブクラスFを廃止します。

ジョブ クラス	リージョン		カード		ラインプリンタ		プロッタ		EXCP 回数
	標準	制限	入力枚数	出力枚数	出力枚数	出力行数	紙長	使用時間	
60 分	512 KB	5120 KB	12000 枚	5000 枚	300 枚	18000 行	10 m	60 分	100000 回

これによりCPU時間、リージョンサイズ及びEXCP回数が共にジョブクラスCの制限値を越えるものがジョブクラスEで実行できるようになり、ジョブクラスEはこれまでの長時間ジョブから大型ジョブに性格が変わりますのでターンアラウンドタイムは現在より多少遅くなります。要審査ジョブの申請をする必要がなくなります。

又、この他にリージョンサイズも変更になります。詳細は追ってセンターニュース等でお知らせします。  
(業務掛 電(内)2518)

## 3. MSS (大容量記憶装置) の本運用について

昨年12月よりMSSのテスト運用を行っていますが、4月1日より下記の要領で本運用を開始します。

### 記

1. 利用者開放ボリューム数は150で1課題当り1ボリューム(1ボリュームは100メガバイト)とします。
2. 利用申込みは「マスメージ利用申込書」に記入の上、2階受付へ提出して下さい。なお、現在テスト利用をされている方は利用申込みがなければ4月以降の利用はできませんので、継続利用の申込みを受付で行って下さい。
3. 利用負担金は、1ボリュームにつき1カ月4,000円になります。  
なお、MSSの本運用に伴い箱崎地区利用者に対する磁気テープのセンター保管サービスを廃止します。  
(業務掛 電(内)2518)

## 4. カタログドプロシヤTEXTFMTの使用法の一部変更について

日本語情報システムJEFで、日本語テキストのフォーマットのためのカタログドプロシヤTEXTFMTについて、その使用法を一部変更します。従来、図版出力の場合には、記号パラメータとして“WTR=KNGWTR”と指定することになっていましたが、今回これを取り扱いました。そのために図版出力の有無にかかわらず“// EXEC TEXTFMT”と指定して下さい。  
(ライブラリ室 電(内)2509)

## 5. アプリケーションプログラムFEMのFEMⅡへの移行について

アプリケーションプログラムの1つである、有限要素法による構造解析プログラムFEM (Finite Element Method) をFEMⅡに移行します。FEMⅡ使用のためのカタログドプロシジャFEM2を用意しましたが、それについての説明は、プログラム相談室または図書室に備えてある「FEMⅡ操作方法(OSⅣ/F4編)」を御覧ください。なお、使用に際しては下記マニュアルを参照して下さい。

FACOM OSⅣ FEMⅡ解説書 70AR-5350

(ライブラリ室 電(内)2509)

## 6. 新規に登録されたライブラリについて

以下のライブラリを、東大大型計算機センターより譲り受け、九大ライブラリとして登録しましたので御使用下さい。なお、使用に際しては、当面、プログラム相談室または図書室の資料を参照して下さい。これらのライブラリのいずれも、それらを使用した成果を公表する場合には、プログラム名と作成者名を明記する義務があることに御留意下さい。

IDコード	内 容	形 式	作 成 者
G9/JAPAN8	日本地図サブルーチン(その8)	サブルーチン	根岸 龍雄 内藤 雅子 階堂 武郎
G9/WORLD1	世界地図(No.1)(南北アメリカ)	〃	〃
J6/DYNA	立体透視図作成用プロッタルーチン	〃	三好 和憲

1) WORLD1を使用する場合には、次のように機番15を指定する必要がある。

```
// EXEC FORTXCG
// FORT.SYSIN DD *
```

ソースプログラム
----------

```
// GO.SYSIN DD *
```

デ - タ
-------

```
// GO.FT15F001 DD DSN=LIB.SYSIN(G9WORLD1),
// DISP=SHR
//
```

2) DYNAは、すでに九大ライブラリとして登録されている立体図作成プログラムPERPLT [1]に比べ、かなり機能が拡張されている。その主なものは、次のとおりである。

- i) 座標軸にラベル，目盛を書くことができる。
- ii) 座標軸の目盛を，整数型，実数型，対数型で刻むことができる。
- iii) D Y N A の内部でもっている文字セット 6 4 文字が取り扱える。
- iv) 3 色が使える。

以下に，D Y N A に含まれるサブルーチンを挙げる。

サブルーチン名	機 能
STRPLT	透視図プロット
SYMPLT	文字プロット①
SBLPLT	文字プロット②
LINPLT	文字列プロット
IAXPLT	整数型座標軸刻み
LAXPLT	対数型座標軸刻み
RAXPLT	実数型座標軸刻み

#### 参考文献

1. 高木，武富 二変数関数の図形表示 —— 等高線図と立体図 —— ，九大大型計算機センター広報，  
13，1，1980，54-60.

(ライブラリ室 電(内)2509)